

その家に入ったら、
「平和があるように」と挨拶しなさい。
マタイ10章12節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



8月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：失業者と野宿者
- ②宣教の意向：差別、飢餓、そして、強制移住の犠牲者
- ③日本教会の意向：「平和旬間」に平和のために祈る

2010年 平和旬間(8月6日～15日)を迎えるにあたって

日本カトリック司教協議会 会長談話

日本のカトリック教会は、毎年8月6日から15日までを平和旬間としています。1981年にヨハネ・パウロ2世前教皇が来日し、広島と長崎で平和のためのアピルを出されたことを機に、この平和旬間が始まりました。広島、長崎の原爆記念日から、長崎の原爆記念日を挟んで、終戦記念日までのこの10日間、日本のカトリック信者にとって、特に平和について学び、平和のために祈り、行動する期間となっています。ヨハネ・パウロ2世教皇は広島で「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことです」と繰り返し訴えられました。この言葉は今もわたしたちの心に響いています。特に今年は世界も日本も平和を求める声がうねりとなってわき起こりました。世界では核廃絶への声、日本国内では沖縄の「もう基地は要らない」という声です。昨年、米国のオバマ大統領はプラハ

宣言で核兵器のない世界の実現を訴えました。日本に対する直接的謝罪ではないにしても、人類史上初めて原子爆弾を投下した自国の「道義的責任」に触れました。単に核廃絶に向かうという理想を述べたのではなく、それがヨハネ・パウロ2世教皇の言葉のように過去の過ちに目を向けたところからの決意であったことに意味があります。去る5月、長崎教区の高見三司大司教は原爆によって廃墟となった浦上の地から拾われた「被爆マリア」を携え、米国民と国連関係者に核廃絶を訴えました。恐ろしい原爆の証言者としての「被爆マリア」は、数知れない原爆被害者とすべての戦争被害者の叫びを、焼けた、だれたその姿をもって自らのうちに表わし、世界の人々に平和の大切さを訴え続けています。わたしたちは「将来に対する責任を担う」ためにも、こうした被害者たちの叫びにまず耳を

傾けなければなりません。日本も自国のことを振り返らなければなりません。今年の8月22日は日本が韓国を併合し朝鮮半島を植民地化した「韓国併合」条約締結100年にあたります。この歴史の大切な節目に、わたしたちカトリック教会の責任を含め、日本の植民地政策がどのようなものであったか、それが人々をどう傷つけてしまったのかを真摯に振り返ることが大切です。日本の司教団も「戦後60年平和アピル」で「わたしたちは過去の植民地支配や武力による侵略という歴史的事実を真摯に受け止め、反省し、その歴史認識を共有することが求められています。そのことが二度と同じ悲劇を繰り返さないことを誓うことになり、将来に対する責任を担うことにもなる」と確信するものです」と述べました。神の前に勇気を持って自らの過ちを認め、赦しを請うことは自らを卑下することではなく、かえってキリストが求める真の人間の姿に近づくことなのです。この姿勢をもってこそキリストは、「敵意という隔ての壁を取り壊し、真の和解へとわたしたちを導いてくれるのです。今年も迎える平和旬間において、今一度、新たな決意のもとに平和を祈り、平和のために行動していきましょう。2010年平和旬間 日本カトリック司教協議会 会長 池長 潤大司教

国連事務総長来日 広島・長崎を訪問

一般紙でも報じられた、潘基文(バン・ギムン)国連事務総長の長崎訪問。8月5日午後、被爆マリア像を安置している浦上教会を訪れ、記者会見を行うことがこのほど分かった。

潘事務総長はこの5月、米国ニューヨーク国連本部で開催された核拡散防止条約(NPT)再検討会議の際、被爆マリア像を携えた高見大司教と会い、「長崎にもお出でください」との要請を受け、日程を調整していた。国連事務総長として初めて参加する、8月6日の広島平和記念式典を前に長崎訪問が実現する。また、米カトリック司教協議会国際正義と平和事務局長ステファン・M・コレッキ氏と、駐日教皇大使アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教も8月7日に広島から長崎に入り、平和祈願祭など参加する予定。

岡田武夫東京大司教は、司祭年閉幕にあたり「司祭に休養と安息を」と呼び掛けた(「カトリック新」6月27日号参照)。しかし、具体的な方針まで掲げている。これには、一司祭として無関心ではいられない▼司祭になったとき、正しい価値観を世に示すために、率先して休みの大切さを示さなければ、とまじめに思った。なぜなら、忙しいと頑張っているのと勘違いして、忙しいことはいいいことだと思っている人があまりにも多いからだ。自身の忙しさを誇らしげに語る人がいるが、そんな人には、それは嘆かわしいことだと言いたい▼人は忙しいと、人を思いやることができなくなる。家族を粗末にすることがあっても、事態の深刻さに気づかない。周りを不幸にした上に、やがては自分の健康も害する。いいことは何も無い▼自分には休みが必要だと思っているのに、休めない人もいます。その理由はさまざまな壁がある。周りの無理難題である。休むことに対して、それを阻もうとする冷たい視線がある。怠け者は「けもの」であって人間ではない。そうだが、わたしには、休むことに対する無理難題こそ、人を食いつくす「けもの」に思える▼司祭職は奉仕職。文字どおりサービス職。連絡したとき、いつも教会にいてほしい。司祭が教会に安心する。頑張っている司祭の姿が、信徒の励みだ。その思いは痛いほど分かる▼ちよとずつ我慢し合うこと、これこそ、みんなのしあわせの基本と思うのだが…(S)

第1回召命祈願ミサ 司祭召命が豊かになりますように

司祭を志す神学生たちのため、また新たな召命の恵みを願って、召命祈願ミサが6月4日、高見三司大司教司式のもと大浦天主堂で行われた。

学生、多くの司祭、信徒が参列し、司祭召命のため、また新たな召命の恵みを願って、大司教は説教の中で、「信徒発見以後、最初の司祭養成の場であるこの大浦で召命祈願ミサを行うことはとても意義深いことです。司祭は教会共同体が成り立つために絶対に必要な存在です。そのことを心に留め、召命を求めてわたしたちは祈り続けていかなければなりません」と語った。

ミサの最後には、神学生が1人ずつ紹介され、参列した信徒にさならる励ましとお祈りを呼び掛けた。神学生養成委員会(委員長・山脇 守師)では、今後この召命祈願ミサを定期的に行いたいと考えており、次回は10月29日(金)を予定している。

韓国如己の会読書感想文「長崎大司教賞」授与

韓国如己の会主催「第1回如己愛人賞」の授賞式が行われ、長崎教区から大司教代理として訪問した小島 栄師(司教総代理、浦上教会主任)が長崎大司教賞を授与した。

永井隆平和基金 設立について

この6月22日に行われた教区顧問会の中で、教区福音化推進部(部長紙崎新一郎)が発案した「永井隆平和基金」の設立が承認された。同基金は、世界平和を求めた故永井隆博士の『如己愛人』の精神に倣い、カトリック教会が協力して子どもの平和学習活動・交流・体験活動などを応援し、子どもたち

が感想文を朗読、感銘を受け涙をこぼす人の姿もあった。受賞者10人は8月8日・11日に長崎巡礼を行い、日本の中高生との交流会も予定している。今回の訪問には長崎如己の会理事で永井隆記念館館長の永井徳三郎氏と、長崎大司教賞を企画立案した教区福音化推進部を代表して秘書の宮崎善信氏も参加。一行は韓国如己の会総裁の李文熙大司教をはじめ関係者から歓迎を受けた。また、授賞式に先立ち、曹煥吉補佐司教(大浦教区長職務代行)を表彰訪問した。

文禄・慶長の役で長崎に連れてこられた高麗人キリシタンたちによって長崎の高麗町に建立された(場所不明)「サン・ロレンソ教会」は1610年、セルケイラ司教の手によって献堂された。今年が献堂400年となることを記念して、聖ラウレンチオ助祭殉教者の祝日の8月10日にミサと講演が行われる。

【問い合わせ先】①イエズス聖心待女会 シスター李 健淑 TEL 0959(36)05220 ②教区本部事務局 長野宏樹 TEL 095(842)4450

人事異動・任命

7月1日付

▼コンベンツアル聖フランシスコ修道会 濱田盛雄師 湯江教会助任(東長崎修道院) マニラル・クリス・ラガヴァン師 東長崎教会助任(修道会インド管区)

教区ホームページが新しくなりました

現在、8月の平和旬間に教区内で行われる集いについても紹介しています。今後もよりよいホームページを目指します。ぜひご覧になってください。 長崎教区広報委員会

平和祈願祭 2010.8.9



NO MORE NAGASAKI 被爆マリア像と共に、全世界へ発信しよう。

たいまつ行列

(※雨天時は中止)
18時30分 平和公園集合
18時45分 出発式
19時15分 出発

平和祈願ミサ

20時～ 浦上教会

主催カトリック長崎大司教区・平和祈願祭実行委員会

2010年 教区司祭黙想会

2010年の教区司祭黙想会は、横浜教区長梅村昌弘司教を黙想指導に迎え、「交わりとしての教会」について学び、黙想のヒントをいただいた。梅村司教自身の掲げる標語が「COMMUNIO COMMUNIONUM」(交わりの中の交わり)であり、具体的、かつ今の長崎教区にとっても考えさせられるテーマが取り上げられた。

説教を通して、梅村司教は教会指導者と公文書が「交わりとしての教会」であることを話した。「交わり」も位階的な交わり、神秘的な交わり、すべての信徒との交わり、諸教会の交わりなど、さまざまな視点に立つて行動していく必要にも触れた。



黙想会中、梅村司教は誕生日を迎え、誕生会を祝う一幕もあった。

司祭年閉年のミサ 司祭職の重みを再確認



司祭年(2009年6月19日)の閉年を記念するミサが、6月10日夜に、浦上教会で高見三司教の司祭の司祭式のもと盛大にささげられた。

教区司祭の黙想会期間中であつたため、長崎教区内のほとんどの司祭たちがこの日のミサに参加した。ミサを通して、受けた司祭職の恵みに感謝し、「共通司祭職」の重みを再認識した。

「ケアホームサン」 江迎町に開所



共同生活介護施設「ケアホームサン」(江迎町)が、6月27日佐世保市江迎町で、利用者に開所が待たれていた共同生活介護施設「ケアホームサン」(須藤房代施設長)の祝別式が行われた。

「安心安全な、アットホームな施設を」―理事長の小瀬良明神父が中心となつて立ち上げに奔走。多くの支援・協力を得ながら約1年半の準備期間を経て、この日を迎えた。施設は男子4人、女子4人が利用できる規模。また、ケアホームサン

と、同一法人の通所授産施設サクラ(末永さち子施設長)は、共にマザー・テレサの愛の精神をモットーとしており、前日26日は江迎町文化会館で「マザー・テレサ」上映会が開催(一粒の麦の会主催)され、マザー生誕100年の喜びと感動を分かち合った。新施設の関係者は、「連日、大きな喜びのお恵みをいただきました。わたしたちの活動は、ボランティアの力なしでは進めません。この集会は毎年、九州

問題について考察を深めた。会場の1つカトリックセンターには約150人が集まり、「人権確立に向けた宗教の現状と課題」をテーマに分科会が行われた。その中で「長崎における宗教的差別」と題し、山内清海師(長崎教区司祭)による報告講話もあった。

この集会は毎年、九州各県持ち回りで開催されている。

右の方々からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

●長崎大司教区
●シヨファイユの幼きイエズス修道会様
●長崎カトリック神学院
●永田勢津子様(中町)

●山本孝子様(浦上)
●故バウロ山本祐二様

故マリア杉本シヅ子様
長崎カトリック神学院
●白濱ミツ様(植松)
●故バトロ白濱愛蔵様
●山口 恒様(浦上)
●故カトリック坂田スナ様
●宮地幸治様(大明寺)
●故ヨハネ宮地雅義様
●山本孝子様(浦上)
●故バウロ山本祐二様

言の波

教区本部事務局が偶数月に発行している「言の波」が、この8月で第50号を数えた。

内容が少し硬いとの声も聞かれるが、2002年6月1日の創刊以来、実にさまざまな分野にわたつて多くの人が執筆を手掛けてきており、ニュース性を帯びる「よきおとずれ」紙とは異なり、信仰生活をより豊かに過ごすための気付き、一助となっている。

谷口広海さん(三浦町教会出身) 終身助祭に



6月6日、高松教区司教座聖堂(桜町教会)に溝部 脩高松教区司教により終身助祭の聖位に叙階された。当日は多くの人が駆け付け、新助祭の誕生を祝った。

谷口師は、長崎在住のころも信徒として多方面で奉仕していたが、溝部司教の呼び掛けで2008年高松教区に移り、同教区のために働き始めた。子ども9人のうち2人は修道女。現在、三本松教会管理、高松教区広報委員長、長尾聖母幼稚園副園長を務める。

第18回井持浦ルルド祭 下五島地区評議会主催



5月30日、下五島の井持浦教会で毎年恒例の「ルルド祭」が行われた。当日は快晴に恵まれ、400余人の信徒が参列。小学生女子は花まき、男子は侍者の奉仕にあつた。中学生、高校生の姿も見られ、大人に負けず奉仕

鈴田牟跡地の祝別

大村市陰平町の鈴田牟跡地で6月20日、植松、水主町の両教会から約150人が参加し、高見三司教の司祭による改修完成の祝別とミサが行われた。

改修は、十字架の祈念碑建立(1974年7月)から36年がたがけ崩れもあつて将来の危険に備えるとともにミサができるようにと工事がされたもの。はじめに、水主町教会顕彰委員会の岩永正次委員長から同地の歴史について説明があ



り、大村での殉教を振り返つた。その後、新祭壇と跡地が大司教によって祝別され、皆で感謝のミサをささげた。

鈴田牟には1617年から5年間、スピノラ神父らと信徒たちが次々と入れられ、通算して35人が収容されたという。牟

での日々はひどいものだつたが、神父たちは黙想やミサを毎日行い、聖化された生活の場になつていったと記されている。

5月28、29の両日、「人権社会確立第30回全九州研究集会」(同実行委員会主催)が長崎市で開催され、カトリックからは福音化推進部部員問題対応部会(責任者・橋口朝光師)が参加した。

1日目は開会式と記念講演。2日目は8つの分科会に分かれ、教育、歴史、宗教などそれぞれの観点から部落問題、人権

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

(医) 外尾内科医院

院長 ベトロ 外尾 明利

〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL0956-33-5557

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行

本社 長崎市つつじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄

長崎市上野町12-3
TEL(095)847-7151
844-1420

2009年度決算に関する報告

長崎大司教区

宗教法人カトリック長崎大司教区の収支決算書が6月22日、教区顧問会で承認された。収入の部では、教区費の減少傾向が続いている。その主な原因である長崎県の過疎化・高齢化を考慮すると、将来改善する見込みは乏しいと言わざるを得ない。資産の有効活用など、新たな収入源を見いだす必要がある。もちろん、支出を抑える努力も必要なことは言うまでもない。分担金の小神学院（他教区）とコレジオ（他教区）の収入が0になっているが、これらは特別会計となった両者に直接納入されるようにしたためであり、来年度の決算書からは削除する予定。

今年も、国宝保存・財務資金から8,500万円を教区運営のためにいただいた。国宝大浦天主堂拝観料に依存した教区運営からの脱却を目指した教区費の見直しだったが、現状は数字が示している通り。

カトリックセンター事業部門は、昨年9月から経営を一新し大幅な人件費削減を実施したが、初期投資として1,300万円余りを教区会計から投入した。今年度の運転資金にあたる次年度繰越金が300万円余りあるので、今年度は教区からの補てんをせず、最終的にはいくらかでも返済できることを目指している。

長崎大司教区

〔収入の部〕			
科	目	本年度決算	(%)
1.経常収入の部		453,998,522	81.4
教区費		144,532,891	25.9
信徒 司祭 修道会等	信徒	126,992,891	
	司祭	11,090,000	
	修道会等	6,450,000	
	特定献金	36,950,635	6.6
	神学生養成援助費	13,196,710	
	世界広報の日献金	2,606,386	
	聖ペトロ使徒座への献金	8,008,366	
	世界難民移住移動者の日献金	2,799,640	
	世界宣教の日献金	2,737,461	
	宣教地司祭育成の日献金	2,894,853	
	児童福祉の日献金	4,707,219	
特別献金		30,473,231	5.5
	寄付金	10,788,731	
	献金収入（本部関係）	19,375,000	
	ミサ奉納金（ピナチオ・トリナチオ）	309,500	
	ミサ献金（教区行事）	0	
分担金		0	
	小神学院（他教区）	0	
	コレジオ（他教区）	0	
本部・諸委員会収入		3,497,983	0.6
(1) 信仰養成部		1,363,800	
	生涯養成委員会	937,600	
	信仰教育委員会	51,800	
	典礼委員会	374,400	
	クルシリヨ	0	
(2) 福音化推進部		1,540,526	
	福音化推進部費	453,950	
	広報委員会	1,086,576	
	社会福音化委員会	0	
(3) 教会奉仕者等養成部		29,000	
	召命委員会	29,000	
	本部事務局	564,657	
その他		234,863,211	42.1
	保険金収入	0	
	受取利息	26,694	
	雑収入	5,955,800	
	未収入金	1,613,283	
	小教区拋出金	222,061,356	
	預り金	5,206,078	
	前年度残高	3,680,571	0.7
2.財務収入の部		103,867,511	18.6
固定資産収入		3,150,000	0.6
	受取家賃	3,150,000	
	その他の財務収入	100,717,511	18.1
	内部貸付金回収	14,300,000	
	立替金返済収入	0	
	国宝保存・財務資金	85,000,000	
	基金取崩収入	1,417,511	
	土地売却収入	0	
	内部取引勘定収入	0	
	教区本部勘定収入	0	
収入の部合計		557,866,033	100

〔支出の部〕			
科	目	本年度決算	(%)
1.経常支出の部		455,388,478	81.6
宗教活動費		2,812,883	0.5
祭儀費 特別行事 助成金（小教区）	祭儀費	884,800	
	特別行事	162,083	
	助成金（小教区）	1,766,000	
諸委員会活動費		17,953,583	3.2
(1) 信仰養成部		7,612,831	
	信仰教育委員会	2,874,357	
	生涯養成委員会	2,623,809	
	青少年委員会	1,042,811	

科	目	本年度決算	(%)
典礼委員会 クルシリヨ	典礼委員会	1,071,854	
	クルシリヨ	0	
(2) 福音化推進部		9,482,443	
福音化推進部費 広報委員会 社会福音化委員会 エ・諸宗教委員会	福音化推進部費	1,114,301	
	広報委員会	6,318,496	
	社会福音化委員会	1,349,333	
	エ・諸宗教委員会	700,313	
	(3) 教会奉仕者等養成部	858,309	
召命委員会 神学生養成委員会	召命委員会	858,309	
	神学生養成委員会	0	
負担金		60,931,261	10.9
日本カトリック神学院 中央協議会送金 使徒座送金 心のともしび	日本カトリック神学院	35,559,545	
	中央協議会送金	16,356,505	
	使徒座送金	8,415,211	
	心のともしび	600,000	
司祭生涯養成費		6,291,167	1.1
黙想研修会 司祭職の日 海外留学費	黙想研修会	2,841,496	
	司祭職の日	1,449,671	
	海外留学費	2,000,000	
不動産管理費		2,672,763	0.5
管理費 租税公課	管理費	164,973	
	租税公課	2,507,790	
人件費		289,666,616	51.9
聖職者（本部関係） （小教区）	聖職者（本部関係）	22,160,000	
	（小教区）	169,485,000	
職 員（本部関係） （小教区）	職 員（本部関係）	34,862,900	
	（小教区）	52,576,356	
引退司祭	引退司祭	10,582,360	
	福利費	33,201,902	6.0
法定福利費（司祭・本部職員） 法定福利費（小教区職員） 医療費 医療共済制度 年金（掛け金）	法定福利費（司祭・本部職員）	26,901,629	
	法定福利費（小教区職員）	1,375,517	
	医療費	710,291	
	医療共済制度	1,575,000	
	年金（掛け金）	2,639,465	
維持管理費		18,160,054	3.3
大司教館 センター 保険料	大司教館	12,064,779	
	センター	5,706,785	
	保険料	388,490	
事務費		13,309,654	2.4
本部事務局 法人事務所	本部事務局	7,041,622	
	法人事務所	6,268,032	
予備費		0	
予備費	予備費	0	
	車輛費	3,402,252	0.6
退職引当金		2,635,000	0.5
今年度残高		4,351,343	0.8
2.財務支出の部		102,477,555	18.4
財務支出		39,865,424	7.1
補助金 利子支払（借入金） 内部貸付金 立替金	補助金	20,000,000	
	利子支払（借入金）	2,865,424	
	内部貸付金	17,000,000	
	立替金	0	
特別会計支出		59,147,131	10.6
長崎カトリック神学院 長崎コレジオ 教区評議会 法務事務所 購買部仕入れ 巡礼センター センター（事業部）	長崎カトリック神学院	20,000,000	
	長崎コレジオ	22,000,000	
	教区評議会	1,925,721	
	法務事務所	1,400,000	
	購買部仕入れ	0	
巡礼センター センター（事業部）	巡礼センター	500,000	
	センター（事業部）	13,321,410	
積立金支出		3,465,000	0.6
積立金 奨学金返済基金 土地・建物建設資金 巡礼地・殉教地整備資金 財務運用資金	積立金	3,000,000	
	奨学金返済基金	465,000	
	土地・建物建設資金	0	
	巡礼地・殉教地整備資金	0	
	財務運用資金	0	
支出の部合計		557,866,033	100

カトリックセンター事業部門

〔収入の部〕	
科 目	決 算 額
旅館売上	30,749,480
（宿泊料）	22,552,830
（会議室）	1,955,180
（カフェ）	6,241,470
雑収入	1,590,802
立替金（借入金）	13,321,410
寄付金	23,750
合 計	45,685,442

〔支出の部〕	
科 目	決 算 額
給料および手当	15,569,986
福利厚生費	2,339,008
什器備品	200,000
消耗品費	3,732,667
修繕費	279,350
旅費交通費	424,984
通信費	716,945
水道光熱費	2,678,462
下水道使用料	247,377
燃料費	756,518
広告宣伝費	384,200
租税公課	2,689,090
交際接待費	19,390
保健衛生費	881,644
雑費	2,299,940
原材料仕入れ	4,433,566
保険・会費	383,380
消費税	1,273,000
工事費	2,782,500
手数料	352,505
次年度繰越金	3,240,930
合 計	45,685,442

2010年 四旬節愛の献金

総額 7,410,232円

（5月31日締め切り）

皆さまのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

カリタスジャパン長崎支部

2009年度決算に関する報告

長崎教区71小教区決算集計表

〔経常収入〕	
科 目	総 合 計
教会維持費	424, 269, 315
ミサ献金	126, 731, 556
ミサ奉納金	190, 481, 484
祭儀献金	43, 278, 090
その他の献金	20, 948, 632
（1）献金収入計	805, 709, 077
一般寄付金	26, 433, 447
指定寄付金	8, 364, 961
司祭寄付金	5, 877, 005
修道会寄付金	609, 700
その他の寄付金	8, 504, 158
（2）寄付金収入計	49, 789, 271
教区補助金収入	15, 000, 000
受取利息収入	658, 945
墓地納骨堂管理費収入	14, 494, 554
行事収入	5, 215, 229
非課税事業収入	2, 999, 696
雑収入	28, 513, 730
（3）その他収入計	66, 882, 154
教区費	127, 011, 857
神学生養成援助費（封筒）	12, 103, 075
児童福祉の日献金	2, 678, 823
世界広報の日献金	2, 451, 709
聖ペトロ使徒座への献金	2, 736, 499
世界難民移住移動者の日献金	2, 672, 465
世界宣教の日献金	2, 582, 770
宣教地司祭育成の日献金	2, 576, 660
特別献金	1, 549, 537
預り金	3, 126, 380
一菜募金	6, 567, 145
クリスマス募金	3, 946, 439
カリタスジャパン募金	6, 920, 950
その他の募金	1, 351, 222
（4）預り金収入計	178, 275, 531
経常収入合計（1）～（4）	1, 100, 656, 033

〔財務収入〕	
科 目	総 合 計
内部借入金収入	10, 601, 871
外部借入金収入	1, 000, 000
特別目的預金取崩収入	113, 434, 659
境内地拡張費積立金収入	5, 650, 100
境内建物建設増改築費積立金収入	340, 486, 587
土地売却代金収入	0
修理費積立金収入	26, 461, 523
雑収入	28, 521, 803

科 目	総 合 計
重文防災施設工事補助金	0
財務収入合計	526, 156, 543
収入合計（経常収入＋財務収入）（a）	1, 626, 812, 576
前年度繰越金（b）	657, 718, 892
収入総計（a）＋（b）	2, 284, 531, 468

〔経常支出〕	
科 目	総 合 計
祭儀費	48, 771, 910
教化費	21, 742, 735
教育養成費	33, 416, 864
図書費	7, 672, 917
出版刊行費	10, 443, 912
行事費	38, 181, 760
負担金	12, 725, 502
維持管理費	45, 753, 343
備品修繕費	18, 168, 547
保守管理費	12, 705, 257
墓地管理費	5, 134, 199
保険料	23, 778, 716
給与手当	236, 167, 592
雑給与	25, 937, 212
退職金	620, 000
福利厚生費	14, 028, 083
法定福利費	4, 078, 477
会議費	4, 665, 876
消耗品費	16, 567, 255
器具備品費	17, 170, 508
リース料	13, 688, 442
通信費	11, 980, 520
旅費交通費	11, 864, 047
自動車諸費	21, 379, 388
水道光熱費	67, 420, 956
接待交際費	15, 803, 172
公租公課	656, 483
支払利息	0
補助金支出	14, 336, 072
支払手数料	376, 827
非課税事業支出	4, 095, 379
雑費	20, 252, 923
司祭活動費補助	3, 619, 488
長崎南山第2学園援助費	100, 000
外国人信徒司牧難民支援	2, 750, 228
修道院献金	2, 070, 000
小 計 I	788, 124, 590

〔預り金支出〕	
科 目	総 合 計
教区費	125, 284, 143
神学生養成援助費（封筒）	12, 144, 255
児童福祉の日献金	2, 728, 636
世界広報の日献金	2, 461, 688
聖ペトロ使徒座への献金	2, 748, 866
世界難民移住移動者の日献金	2, 675, 640
世界宣教の日献金	2, 593, 461
宣教地司祭育成の日献金	2, 584, 853
特別献金	7, 570, 337
預り金	3, 341, 360
一菜募金	6, 454, 145
クリスマス募金	4, 065, 075
カリタスジャパン募金	7, 532, 114
その他の募金	1, 754, 155
小 計 II	183, 938, 728
経常支出合計Ⅲ（Ⅰ＋Ⅱ）	972, 063, 318

〔財務支出〕	
科 目	総 合 計
内部借入金返済支出	31, 485, 000
外部借入金返済支出	7, 684, 951
土地取得支出	16, 086, 927
建物取得支出	46, 937, 023
構築物購入支出	25, 984, 495
器具備品購入支出	10, 381, 609
特別目的預金積立支出	193, 342, 340
退職積立金	1, 200, 000
建物増改築費	980, 789
教会修理費	1, 678, 795
財務支出合計Ⅳ	335, 761, 929
支出合計（Ⅲ＋Ⅳ）	1, 307, 825, 247
次年度繰越	976, 706, 221
支 出 総 計	2, 284, 531, 468

	(2009年度)	(2008年度)
所帯数	18, 239	18, 483
①維持費／所帯数／月	1, 945	1, 901
②教区費／所帯数／月	584	591
③教区費／維持費（％）	30	31
④ミサ奉納金／所帯数／年	7, 481	6, 439
⑤ミサ献金／所帯数／月	585	582

生誕100年記念

マザー・テレサ映画祭

2010年8月21日～29日



主催 カトリックセンター
後援 カトリック長崎大司教区広報委員会
会場 カトリックセンター ホール
(長崎市上野町10-34)
入場料 ※1プログラムにつき
大人 前売券900円(当日1,300円)
小・中高生 前売券600円(当日 900円)
チケット取り扱い
・同センター宿泊部
(問合先) TEL095-846-4246
・NAKAMACHI セント・ポール
(長崎市中町1-7
TEL095-822-9241 FAX095-893-6062)

2010年――マザー・テレサがこの世に生まれて100年。この記念すべき年に行われる「生誕100年記念 マザー・テレサ映画祭」では、その奇跡ともいえる活動を記録した、劇場初公開作を含む現存する国内外のドキュメンタリーを一挙特集上映いたします。マザー・テレサに関する映像を、これだけ一堂に集め上映するのは“世界初”の試みです。名作・新作を交えた7本のドキュメンタリーが、それぞれの視点からマザー・テレサの愛に満ちた活動の軌跡を明らかにします――

	上映開始時間				
	①10:30	②12:30	③14:30	④16:30	⑤18:30
8/21 (土)	マザー・テレサとその世界	マザー・テレサの祈り生命それは愛	母なることの由来	母なるひとの言葉	マザー・テレサの遺言
8/22 (日)	マザー・テレサと生きる	マザー・テレサとその世界	マザー・テレサの祈り生命それは愛	母なることの由来	母なるひとの言葉
8/23 (月)	マザー・テレサの遺言	マザー・テレサと生きる	マザー・テレサとその世界	マザー・テレサの祈り生命それは愛	
8/24 (火)	母なることの由来	母なるひとの言葉	マザー・テレサの遺言	マザー・テレサと生きる	マザー・テレサとその世界
8/25 (水)	マザー・テレサの祈り生命それは愛	母なることの由来	母なるひとの言葉	マザー・テレサの遺言	マザー・テレサと生きる
8/26 (木)	母なるひとの言葉	マザー・テレサの遺言	マザー・テレサと生きる	マザー・テレサとその世界	
8/27 (金)	マザー・テレサと生きる	母なることの由来	母なるひとの言葉	マザー・テレサの遺言	マザー・テレサの祈り生命それは愛
8/28 (土)	マザー・テレサと生きる	マザー・テレサとその世界	マザー・テレサの祈り生命それは愛	母なることの由来	すばらしいことを神さまのために
8/29 (日)	マザー・テレサとその世界	マザー・テレサの祈り生命それは愛	マザー・テレサの遺言	母なるひとの言葉	母なることの由来



カトリックセンターで映画鑑賞
感動を分かち合いました

6月27日、「マザー・テレサ」の上映会がカトリックセンターホールで行われ、この日約300人の方が来場した。鑑賞者は決して多くはなかったものの、感動を分かち合うよい機会となった。7月24日は「もも子」上映。8月は、広島原爆をテーマにした「父と暮せば」の上映（8月7日）やマザー・テレサ映画祭（左記）も開催される。

被爆者は、行動する、 体験講話など積極的

平和巡礼で海外に出た「被爆マリア像」が核廃絶の声を世界に発信し、帰国した。こうした動きの中、被爆者奥村アヤ子さん(73、城山教会所属)は、この6月オランダで開かれた「海外原爆展」で被爆体験講話に臨んだ。また、8月の「原爆忌」を誕生日に持つ山田フジエさん(浦上教会所属)は今年87歳を迎える。被爆死者の安息と、平和を願う「祈りの会」を支えて二十数年を経る。被爆者は行動的。

被爆、両親が家族8人を亡くす。

オランダでは国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が主催した海外原爆展で被爆の証言を行った。

「今の平和は多くの人の犠牲の基にできた平和です。二度と核兵器がこの地球上で使われることがないように、長崎が最

奥村アヤ子さん
爆心地に近い城山町で



後の被爆地になるように、被爆の実相を1人でも多くの人に伝えたいです」と声を振り絞った。講話3回、200人余の聴衆は総立ちして拍手を送った。

山田フジエさん

幸町の職場で被爆。本来に住んでいた両親同居中の甥、姪ら6人を被爆死、原爆後遺症で失う。いつも被爆マリア像安置の聖堂で祈るとき、家族を思い出す。また、幸町から自宅へ逃げ帰る途中で、炎に包まれた家から



少女が助けを求めているが、応えきれずその場を去ったことを思い出し、しばし、悲しみは消えないという。

「二十数年前、被爆者が集まって死者平和のため『祈りの会』をつくり、ミサをお願いしています。でも高齢化し13人いた会員は今、6人に。うち2人は病氣中です。命ある限り、続けていきます」



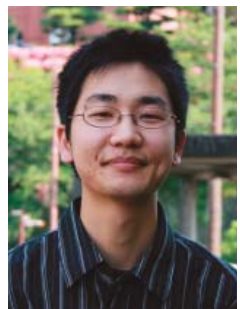
毎年8月に開催される「九州青年キャンプ」。今年は8月28

九州青年キャンプ in 長崎

実行委員長 橋本裕紀さん

「We are the ちゃんぽん!」をテーマに長崎で行う。キャンプに参加することで『教会共同体の中の自分』というものを考えるきっかけにしてほしい。歴史や文化など長崎はさまざまな要素がまじり合っていていい。その長崎の街をい

ろいろな人とさるき(歩く)分ち合って、互いの環境・価値観を受け入れ、愛によって結ばれることを目指しています」準備は青少年活動に携わる司祭らの指導のもと、教会の枠を超えたつ



う手助けしないといけない」と話す。長崎南地区青年会に所属し、企画や実行など青年活動には未熟な点もあるが、何より互いのきずなを

携帯電話から閲覧可能なホームページも手掛ける(九州青年キャンプ <http://mbm.jp/gycamp2010>)。キャンプの内容を聞くと、「約3時間かけて巡るコースを5つ用意しています。詳しくは体験してお楽しみ」と参加を促す実行委員長らしく、笑顔でさつぱりと答えた。自分にとってプラスになる、そして一緒に活動している人たちにとってもプラスになる、そんな集いを目指す。小ヶ倉教会。23歳。

戦後65 からは種・パン種

私が体験した「平和」の段階

井手愛子

20歳の私は、大橋の三菱兵器製作所・勤務課に勤務していました。戦時中の日本で地雷を作っていた軍需工場に務めることは、私にとって意義のあることでした。その当時の私の心の中には、祈る時も何か行動するのにも、いつもマリアさまを呼び、マリアさまの存在を意識していました。

私は5月ごろから通勤の行き帰りを徒歩で、あぜ道を通りロザリオを繰りながら通勤していました。あぜ道では誰にもじゃまされずにロザリオを唱えることができたからです。帰宅の途中に浦上天主堂に寄って、5分くらい聖体訪問をして帰



1926年長崎生まれ。シヨファイアの幼きイエス入修道会会員。長年、幼児教育、養護施設、養老院の事業に携わり、現在は病人・独居老人訪問を行う。

いました。手さぐりでやっと外に出ました。外は一変して死骸(しがい)がごろごろと横たわり、様子が変わってしまった。空襲でやられたのだとは分かりました。それ以外は何も分かりませんでした。恐ろしさのあまり、3日くらい防空壕の中にいました。

それから8月の末ごろと思いますが、1人の男性が登って来て「あなたは何をしているの? 日本は負けてもう戦争は終わったのですよ」と告げてくれました。あまりにも予期しない言葉に

腰が抜けるほどの驚きの反面、もう逃げ回らなくてもいいんだというある種の安心感と、今からどうして生きていけばいいのかという気持ちが交錯していました。

周囲の人たちは皆死んでいました。家族も友も隣人も皆死んだ中で、私は傷1つ受けないで救われた人間でした。周囲は数知れない死骸の山、おびただしい臨終の人々、顔は丸く腫れ上がり、着物もなく傷だらけで焼けただれ、水、水と言われても水もなく薬もなく、ぼうぜんと立っているばかりで何もできませんでした。この時私は、もう一度生かされたこの体と心を使ってマリアさまと共に「平和」のために働かねばと強く決心しました。

それから3年後、体調がよくなった私は修道院に入り、神の恵み

で修練を終え、誓願宣立を受けた私は30歳の時、奄美大島に派遣されました。日本にやつと復帰した(米国政府の統治下にあった)奄美の人たちは苦しい生活から立ち上がり、平和を求めて、心の潤い、豊かさを求めて神さまのことを知りたい人たちがたくさんいました。

私はがむしやに働きました。昼は幼稚園で働き、夕方家庭訪問をし、夜は毎晩、各地区の要理研究会を開きました。

そしてマリアさまのルルド出現の100周年の時、マリアさまの計り知れない計画の中で研究を終えた受洗希望者103人は、3人の神父さまによつて次々と洗礼が授けられました。私は奄美の平和の一步が始まったことを思い、感涙にむせびました。こうしてカトリック古田町教会(奄美市)が発足いたしました。

公開聖書講座

(教区生涯養成委)

教区生涯養成委員会が主催する公開聖書講座が、6月24日カトリックセンターで開かれた。

書そのメッセージは何か?と題し、マタイは、キリストについての教えを軸に、教会と倫理に関する事柄を組み合わせていることを具体例を

挙げながら丁寧に説いた。「聖書の中の登場人物が、どういう生き方、考え、方なのかを視点を置いて読むこともできます。中心になるのは、イエスさまのまことばを聴いてイエスさまについていくということ。そして、共に

神のみ旨に従った共同体をつくって神の国を實際に証しするものとなり、教会がさらに成長することによって神の国が広がるという、それが神さまのわたしたちに対する計画であります」とまとめ

イエスさまはいつも一緒! 小麦づくり、初聖体、そしてこれからも



浦上教会の子どもたちが育てた小麦が、収穫後、脱穀とホスチア焼きの作業を経て、初聖体の子どもたちのもとへ。

7月18日、浦上教会の9時半のミサでは初聖体式が行われた。手づくりのホスチアは、この日に初めて「ご聖体」を受ける子どもたちをお祝いするしるしとなった。小島栄主任神父は、「今日みんなの顔は輝いていますが、初聖体をしたら大変いい子どもになったと喜ばれるよう頑張ってください」と語り掛けた。7人の子どもたちはご聖体のイエスさまを迎え笑顔に。ミサのご聖体はすべて手作りのホスチアが生まれ、皆で分かち合った。

シンフォローザ

岩崎信子修道女



5月24日聖フランシスコ病院で急性心不全のため帰天。長崎市出身。79歳。1961年終生誓願宣立。純心中・高校を振り出しに鹿児島純心川内純心女子学園で教諭・校長、また園長として、2001年からは学校法人第二純心学園の理事長として教育に力を尽くした。

強い信仰心と責任感、几帳面さと細やかな心配りですべての人を大切に、修道院内では院長としての役割を誠実に果たし、姉妹たちには温かいもてなしの心で接していた。葬儀ミサ、告別式は26日、本部聖堂で行われた。

クララ

濱口スマエ修道女



6月3日、聖マリア病院で帰天。89歳。

1920年五島市平蔵町大泊生まれ。戦時中42年入会。74年終生誓願宣立。体が弱かったが、生涯農耕に従事し、奥浦瀬恵院の子どもたちや修道院の生活を支えた。いつでも、また誰に対しても、笑顔で接する姿に多くの人が励まされた。葬儀ミサ・告別式は4日、浦頭教会で行われた。

「レジオ・マリエ」 大分の殉教祭に参加

聖職者の墓地清掃、病人見舞い、若い母親の相談相手などの奉仕をしている長崎のレジオ・マリエ41人の巡礼団(代表ジョージ・ボミノ・ボサカイボ師「西町」)は6月



6日大分市葛木の殉教公園で行われた「キリシタン殉教祭」に参加した。

殉教祭会場の旧葛木村は、1660(82年)にかけて起こったキリシタンの摘発事件で92人が検挙され、長崎での死罪27人、長崎・日田での牢死者など三十

教区連合婦人会 創立30周年記念講演会

慈恵病院(熊本市)の看護部長、田尻由貴子氏を講師に迎え「輝くいのちを見つめ、ともに歩むには…」をテーマに、各地区で開催されていた教区連合婦人会創立30周年記念講演会が、6月26日、27日の下、上五島地区での集いを最後に終了した。

「長崎の婦人会の皆さんの活動に参加したい」と慈恵病院理事長の蓮田太二氏の講演も加わり、参加者は「お2人からのメッセージは、参加者の心に命を思いやる種をま

「召命」についての 講演会(中町)

司祭年にあたり、「召命」についての講演会「こんなわたしでも…自信がでる召命」が7月4日、中町教会で行われ

(ルカ19章1〜10節)

イエスは見上げて言われた「ザアカイ、降りて来なさい。今日はぜひあなたの家に泊まりたい」

小学校に入学したばかりのころでした。おとなしくて少し緊張気味の太った女の子がいました。数人のいたずらっ子がからかったようです。するとすごい剣幕でケンちゃんを呼びました。「おっがエミちゃんば泣かすな!」(ボクのエミちゃんをいじめな)。

みことばにふれて65 お告げのマリア修道会 赤窄須美子修道女

町に行かれたとき、町中の人が、イエスさまに会いたくて集まりました。騒ぎを聞きつけたザアカイさんも、有名なイエスさま



を一目見たくて道に出ましたが、背が低いザアカイさんは見ることができません。思い付いて木に登り、見えた見えたとおどろき、イエスさまは木の上のザアカイさん

「早く降りてきて、あなたの家に泊めてください」と。町中の人は怒りました。みんなの嫌われ者欲張りの金持ち、税金とりザアカイの客になるなん



講師の中村倫明師(植松教会、写真)は市販のさまざまなジュースを例に、「無果汁(0%)でもオレングジューズにな

約400人が集まった。長崎南地区連合婦人会主催。

数人を出す。殉教公園には平和祈念像を製作した北村西望作の殉教記念碑が建っている。

殉教祭後は福者加賀山半左衛門と息子ダイエゴが斬首されたといわれる日出(ひじ)殉教公園、ザビエル像など記念碑が建つ公園、府内で最初に献堂されたデウス教会跡

れる。なりたい気持ちが0%の人、無理だと思っている人でも、神さまの力によって司祭やシスターになれる」と触れた。召命はお恵みなので、大切なのは祈りということ。お恵みが言いたいのは「わたしは1人ではありません」。洗礼を受けたすべての人が共通祭司職を持ち、召命は、司祭も信徒も一緒に体験するものと語った。

中村師は自身の体験も交え、スクリーンに映像を映し出しながら分かりやすく説いた。参加者は「講演は」涙も笑いもあった。召命に対してもっと協力していきたい

て。でも、ザアカイさんは大喜び、あんまりうれしくて、お金なんかいらさない、困っている人に分けてあげると、すぐに決めたのでした。

嫌われ者のザアカイ。イエスさまは、そのザアカイさんの友だちになりました。町中の人ががっかりして、文句を言うのはわかっていました。イエスさままで嫌われるのも知っていました。でもイエスさまは、ザアカイさんが、本当は優しい心を持っていて、そして

を上げて頼みました。「早く降りてきて、あなたの家に泊めてください」と。町中の人は怒りました。みんなの嫌われ者欲張りの金持ち、税金とりザアカイの客になるなん

を巡礼。前日の5日は、福者ベトロ・カスイ岐部神父公園、聖堂、資料館など参観した。

巡礼地では出津出身、大分教区司教館の坂本要神父(写真)、今回ガイドで初デビューした別府教会女性信徒の丁寧な説明を受け、レジオ会員はメモを手で感動していた。

という思いが芽生えた。「召命は皆で折り、支えるものと感じた」と感想を話していた。

今井美沙子さん講演 下五島地区評議会

6月20日福江教会で、ノンフィクション作家、今井美沙子さん(五島出



身)の講演会が下五島地区評議会の企画で行われ

今、友だちもいなくてとてもさびしいのも知っていました。だから、お友だちになろうと決めたのです。あつたかい心をも

アイエスさまが優しい目で、まっすぐに見上げて泊めてくださいと言われたので、ザアカイさんの欲張りの心も、意地悪な心もすっかり消えたのでした。

ザアカイさんが欲張りでなくなり、イエスさまの仲間になったので、町の人たちは大喜び。ザアカイさんには、友だちがた

カトリック合唱団 教会訪ね交流深める

この6月、わたしたち

長崎カトリック合唱団は深堀教会を訪れました。小教区を訪問する目的は、その教会と交流を深め、認知度が低いわれらが長崎カトリック合唱団を紹介するためです。これまでの訪問先は大山、香焼、長与、時津、三ツ山、諫早、植松、時津の各教会で、機会があるたびに訪れ、交流を深めています。わたしたちは歌を聞いていただくのではなく、

た。演題は「松下佐吉神父様の思い出」。この日、下五島の各小教区から集まった130余人を前に約1時間半にわたって語られた。

講演は、司祭年の締めくくりとして、下五島の信徒司牧に力を注がれた松下神父(1986年帰天)を紹介された後、同神父が福江教会にいたころの影響を受けたという、その時のエピソード。自ら「石頭神父」と称し、

締めてくくりとして、下五島の信徒司牧に力を注がれた松下神父(1986年帰天)を紹介された後、同神父が福江教会にいたころの影響を受けたという、その時のエピソード。自ら「石頭神父」と称し、

身)の講演会が下五島地区評議会の企画で行われ

今、友だちもいなくてとてもさびしいのも知っていました。だから、お友だちになろうと決めたのです。あつたかい心をも

アイエスさまが優しい目で、まっすぐに見上げて泊めてくださいと言われたので、ザアカイさんの欲張りの心も、意地悪な心もすっかり消えたのでした。

ザアカイさんが欲張りでなくなり、イエスさまの仲間になったので、町の人たちは大喜び。ザアカイさんには、友だちがた

その教会の聖歌隊の皆さまと一緒に神さまを賛美しようという姿勢です。



ミサ前の合同練習(深堀)

で、いつもそこで歌われている聖歌に合わせて歌うようにしています。

今回の訪問では、歌声が響く荘厳なミサが始まったので、特に子どもさんたちがびっくりして聞いていました。紙崎神父さまはじめ深堀教会の皆さまの温かいおもてなしに触れ、聖歌隊の皆さまと一緒に、ミサをささげる素晴らしい味を味わいながら、小教区訪問の意義を再認識した一日でした。

団長 田中耕平

団員を募集しています。TEL095・844・5635 田中までご連絡ください。



山田正彦氏

山田衆議院議員 管内閣で農水相

6月8日夜、発足した菅内閣で農水相。衆院長崎3区選出。五島市出身。バチカンで「神に感謝!」と両手を広げ祝福を頂いた感激が受洗につ

「青いお茶」と呼んでいたことに由来し、「ド・ロさまの青いお茶」の名称で販売。関係者は「今年はずでに売り切れたが、来年はより多くの方々に呼び掛けて、お茶摘みと共に緑茶の味を体験していただきたい」と話している。「ド・ロさまの家」は、神父の活動の原動力となった愛の精神に倣い、今後もさまざまな活動に取り組んでいく。



一環として行われた。摘んだお茶は製茶され、ド・ロ神父が緑茶を

「ド・ロさまの青いお茶」 茶摘み体験(出津)

国指定重要文化財旧出津救助院、県指定史跡「ド・ロさまの家」(修道会や地域の人々による

会)は、地域内外に呼び掛け、ド・ロ神父ゆかりの茶畑で5月8日にお茶摘みを行った(6月は雨天のため中止)。このお茶摘みは、100年以上の間の間お告げのマリア修道会出津修道院と、養護老人ホー

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口 美義
〒858-0926 佐世保市大湊町586
TEL(0956)47-4380

主の平安

株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館 五島留会館

代表取締役 ヨゼフ 浦 昭

24時間営業
五島市上津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101
FAX (0959) 64-3102

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

マイホームの美容と健康に!

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268